

「壊された者たち」

—初稿—

2023/1/13

川尻 佳司

〈人物表〉

川下 朝雄 (40) 倉庫作業員

榎本 透 (65) 朝雄の伯父(朝雄の母の兄)

川下 知恵 (43) 朝雄の姉

田中 平蔵 (65) 前内閣総理大臣

〈ログライン〉

川下朝雄が自暴自棄に陥る。

〈ねらい〉

困窮する家族の中で苦しみ、自分を保とうとするも、自暴自棄に陥ってしまう様子

1 病院・川下の病室 (昼)

6人病室。ベッドと脇机。机にはPCと家族写真。家族写真は6歳くらいの川下朝雄と父母姉が写っている。

川下朝雄(40)、ベッドに横たわって、脇のPCで動画を見ている。

動画では大きなホールに大勢人が集まって、舞台上の巨大スクリーンで大統領が演説している。拍手や英語の演説の音が聞こえる。

2 ホール・屋内 (昼)

300人くらい入る客席と舞台のあるホール。舞台上に巨大スクリーン、その脇に演台があり、司会者が一人立つ。客席は埋まっている。

巨大スクリーンに田中平蔵(65)が映る。司会者が韓国語で田中平蔵を紹介する。会場の大きな拍手。

田中 「ご出席の皆様、日本国内閣総理大臣の田中平蔵です、WPUの主催のもと、よりよい世界実現のための対話と諸問題解決のために150か国の国家首脳」

3 病院・川下の部屋 (昼)

榎本透(75)、戸を開けて入ってくる。

透、朝雄の姿を見て、駆け寄る。

田中の声 「国会議員、宗教指導者が集う世界平和実現大会

で……」

透 「ばかやろう、なんでこんなことした」

朝雄、黙ってうつむく。

透 「すまなかった、伯父さんがもっとお前たち家族を

見てやれてれば、こんなことにならずに……」

朝雄 「伯父さんには充分世話になってるよ、俺や姉ちゃ

んがなんとかやってくれたのも伯父さんのお陰だ」

透 「仁恵には何度もお姉ちゃん的面倒を見るように言っってはいるんだ……」

朝雄 「母さんはあそこにすっかり洗脳されちゃまってんだ、そんな簡単に戻れるわけねえよ」

透 「朝雄、だけどな、自殺して保険金残そうなんてやめてくれ、な」

朝雄、黙る。

透、ベッドにすがりついて泣きながら、

透 「約束してくれ、たのむから……」

田中の声 「世界平和を共に牽引してきた盟友のハート大統領と共に演説する機会を頂けたことを光栄に思います」

透、動画に気づく。

透 「こんなもん見るな」

朝雄、動画を消す。

朝雄 「立派だよな、世界平和だと」

透 「朝雄、いくら恨んでも、何も始まらない、お姉ちゃんもすぐく心配したんだぞ」

朝雄 「……」

透 「お姉ちゃんに心労をかけるな、伯父さんもできるだけになるから」

朝雄、涙を浮かべる。

家族写真。

4 倉庫・屋内 (昼)

大規模な倉庫で沢山のフォークリフトが荷物を運んでいる。

朝雄、フォークリフトを操作して荷物を運んでいる。

作業員A 「川下」

朝雄、作業員Aに気づき、操作を止める。

作業員A「どう、仕事慣れた？」

朝雄「はい、なんとか」

作業員A「黙々とき、仕事はやくて助かるよ」

朝雄「いや」

作業員B「川下」

朝雄「はい」

作業員B「家から電話だ」

5 病院・霊安室（昼）

川下知恵（43）の遺体が横たわる。

朝雄、知恵にすがりついて、

朝雄「姉ちゃん、なんで、なんで」

朝雄、泣き崩れる。

6 寺・外観（夜）

本堂に齋場が設営されている。門前に知恵の葬儀の看板。数人の弔問客が出入りする。

7 寺・本堂（夜）

祭壇に知恵の遺影。50人ほどが参列。

朝雄は表情無く、家族席に座る。

弔問客Aの声「あの宗教に殺されたようなものよ」

弔問客Bの声「ほんとおそろしい」

朝雄、表情は無い。

8 透の家・リビング（昼）

戸建て。15畳くらいのリビング。大きな窓が庭につながっている。

明、ソファで電話をかけている。

透「だめだ、つながらない、あいつ」

透の妻「どうしちやったのかねえ、あの子」

透、心配そうに窓の外をみる。

9 アパート・朝雄の部屋（昼）

8畳くらいの和室。ベッドやタンス、机、本棚が置いてある。ものが散乱して、荒れている。

机の上のPCで、WPUの世界平和実現大会にて田中前総理の挨拶動画が流れている。

田中 「WPUの世界平和構想において、とりわけ『家

庭』の価値を評価する点に、私は高く評価いたしております、『世界人権宣言』にもありますように、『家庭』は社会の自然かつ基礎的集団単位としての普遍的価値を持っているのです」

朝雄の家族写真が破られて、部屋に散乱している。

10 倉庫・屋内（昼）

朝雄、フォークリフトで荒々しく荷物を運ぶ。表情は無く、操作は荒い。荷物をおろす音が大きく響く。

朝雄から数十メートル離れたところにいる作業員C、他の作業員に指示を与えている。

11 朝雄の部屋（昼）

本棚に数冊の哲学の本が並んでいる。
本のタイトル「大学で学ぶ哲学」など。

田中の声「いつの時代も理想に向かう情熱が歴史を動かしてきました」

12 倉庫（昼）

朝雄、フォークリフトで荒々しく荷物を運ぶ。
音を響かせて、激しく運ばれる荷物。

朝雄、だんだん表情が険しくなる。

他の作業員たち、異変に気付いて、朝雄を見る。
作業員C、朝雄に気づき、注意しに向かう。

13 田中前総理の挨拶動画

田中 「理想の前には常に壁があります、よって戦いがあ
るのです」

14 倉庫（昼）

作業員C、朝雄に向かって、
作業員C「ごらっ、お前、止まれっ」

朝雄、勢いよく荷物の山におろすと、弾みで荷物の
山が大きな音を立てて崩れてしまう。
作業員C、あっけにとられる。

△終わり▽